

〔資料提供〕

月 日	担当課（室・館等）	電話	担当者
令和8年4月17日	博物館	088-668-3636	大橋俊雄 (人文担当)

企画展

「まぼろしの漆器 阿波の半田塗」

の開催について

1 開催趣旨

徳島県美馬郡つるぎ町半田では、かつて木地に漆を塗る漆器が作られました。それらは半田塗または半田漆器と呼ばれ、生産が18世紀前半に始まり、1970年まで続きました。製品は、庶民向けの膳椀が中心で、商圏が四国、近畿、中国、九州、関東などの広い範囲におよび、盛時の半田は、西日本有数の漆器産地として知られました。しかし現在は、地元でも生産されていた事実を知る人が減り、どのような製品なのかほとんど分からなくなっています。

近年、かつて半田塗の製造販売の担い手であった、敷地屋大久保本家の子孫の方より、当館および県立文書館に資料が寄贈されました。この展示では、それらの資料などを中心に、半田塗について紹介します。

2 主 催 徳島県立博物館

3 会 期 令和8年4月25日（土）から5月24日（日）まで（開館日数：26日）
休館日：月曜日（5月4日は開館）、5月7日（木）

4 開館時間 午前9時30分～午後5時

5 会 場 徳島県立博物館1階 企画展示室

6 観覧料

一般400円、高校・大学生200円、小・中学生100円

※土曜日・日曜日・祝日は高校生以下無料

※各種減免あり

7 展示構成

(1) 漆器いろいろ

おもに江戸後期から明治にかけての、蒔絵がほどこされた漆器を展示します。半田塗以外の漆器のイメージをしめします。

(2) 敷地屋大久保本家の漆器

敷地屋大久保本家は、江戸後期から大正にかけて、半田における塗物生産の最大の担い手でした。同家に伝来した漆器のうち、半田塗とみられる製品をおもに展示します。

(3) 半田塗に関わる文書など

今まで公開されなかった、大久保本家に伝えられた文書などを展示し、記録から半田塗をさぐります。

(4) 半田塗の諸相

おもに県下に伝わった半田漆器や、最後の職人であった竹内久雄氏（1928～2013）の作品などを展示します。

8 展示解説

日時 4月26日（日）、5月5日（火・祝）、5月24日（日）

いずれも午後1時30分から午後2時30分まで

※5月24日（日）の展示解説では、筒井 正氏（東近江市参与）によるスペシャルトークがあります。内容は、木地師発祥の地とされる滋賀県東近江市小椋谷の概況、木地師をめぐる制度の概要、木地師文化を継承するための地元自治体の取り組みについてです。

会場 企画展示室

※企画展観覧料が必要です



徳島県立博物館 令和8年度 企画展

まぼろしの漆器

阿波の半田塗

2026年

5/24(日) 4/25(土)



〔会場〕 徳島県立博物館 企画展示室

〔開館時間〕 9時30分～17時00分

〔休館日〕 月曜日(5月4日を除く)、5月7日(木)

〔観覧料〕 一般400円、高校・大学生200円、小・中学生100円

※土曜日・日曜日・祝日は高校生以下無料。※高齢者(65歳以上)は半額証明書の提示が必要。
※幼稚園・保育所・学校(高等教育機関を除く)、社会福祉施設等での利用は無料。※20名以上の団体は2割引。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、特定疾患医療受給者証、
特定医療費指定難病(受給者証)、小児慢性特定疾病医療受給者証の所持者とその介助者1名は無料。

〔主催〕 徳島県立博物館



まぼろしの漆器

阿波の半田塗

展示構成

① 漆器いろいろ

おもに江戸後期から明治にかけての、蒔絵がほどこされた漆器を展示します。半田塗以外の漆器のイメージをしめします。

② 敷地屋大久保本家の漆器

敷地屋大久保本家は、江戸後期から大正にかけて、半田における塗物生産の最大の担い手でした。同家に伝来した漆器のうち、半田塗とみられる製品をおもに展示します。

③ 半田塗に関わる文書など

今まで公開されなかった、大久保本家に伝えられた文書などを展示し、記録から半田塗をさぐります。

④ 半田塗の諸相

おもに県下に伝わった半田漆器や、最後の職人であった竹内久雄氏（1928〜2013）の作品などを展示します。

展示解説



日時

4月26日(日)

5月5日(火・祝)

5月24日(日)

いずれも午後1時30分〜午後2時30分



会場 企画展示室



備考 事前申し込み不要、企画展観覧料必要



朱溜内黒鷹蒔絵椀



遊楽模様大平(上下とも)



春慶内朱丸一ノ角文字紋蒔絵箱



祝儀膳・椀



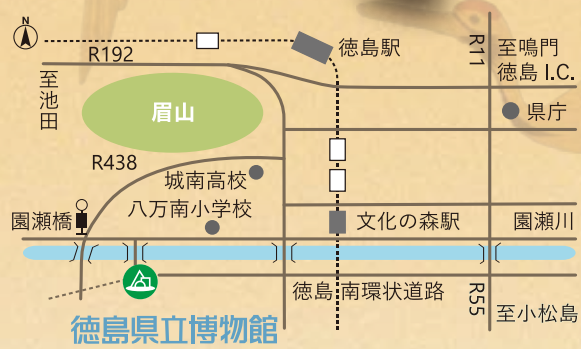
総朱菓子椀



若松宝尽蒔絵重箱

(表・背面 上から) 楢総朱目出塗立丸膳、楢黒内朱足付盆 (表・前面 右上から) 若松鶴蒔絵重箱・台、鶴蒔絵椀、朱溜内黒若松蒔絵椀、松葉松遯蒔絵重箱・台、青光内朱高菊蝶絵組盆、総朱八十手・膳 (神宮寺蔵)

徳島県 美馬郡つるぎ町半田では、かつて木地に漆を塗る漆器が作られました。それは半田塗または半田漆器と呼ばれ、生産が18世紀前半に始まり、1970年まで続きました。製品は、庶民向けの膳椀が中心で、商圈が四国、近畿、中国、九州、関東などの広い範囲におよび、盛時の半田は、西日本有数の漆器産地として知られました。しかし現在は、地元でも生産されていた事実を知る人が少なくなり、どのような製品なのかほとんど分からなくなっています。近年、かつて半田塗の製造販売の担い手であった、敷地屋大久保本家の子孫の方より、当館と県立文書館に資料が寄贈されました。この展示では、それらの資料などを公開し、半田塗について紹介します。



- 徳島駅から バス…約25分 タクシー…約15分
- 文化の森駅から 徒歩…約35分
- 徳島自動車道「徳島津田I.C.」から車…約15分 ※無料駐車場あり

〒770-8070 徳島市八万町向寺山 TEL.088-668-3636

みんなおいでよ！友の会

博物館友の会では、博物館を積極的に利用し、自然や歴史・文化に親しみ、参加・体験することで子どもから大人まで楽しく学んでいます。多くの方のご入会をお待ちしています。

- 年会費 個人会員 2,000円 家族会員 3,000円 (10月〜3月の半年会員は半額)
- 会員の特典 博物館の常設展・企画展の観覧料が無料になります。催し物案内、博物館ニュース、会報等をお届けします。友の会行事に参加できます(一部参加料が必要です)。友の会の出版物やミュージアムショップの品物を割引価格で購入できます。



徳島県立博物館友の会 〒770-8070 徳島県徳島市八万町向寺山 徳島県立博物館内 Tel.088-668-3636 / FAX.088-668-7197